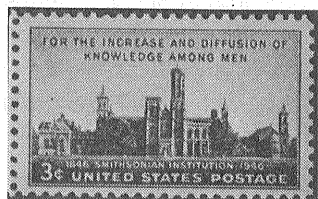


- 4) U. S. Patent 2.934.652 : RICHARD, L. C. Apr. 26, 1960. (Selected Scatterd Gamma-Ray Density Logging.)
- 5) U. S. Patent 2.769.918 : TITTLE, C. W. Nov. 6, 1956. (Epithermal Neutron Logging Method using Collimation.)
- 6) HILCHIE, D. W. (1968) : Caliper Logging-Theory and Practice : The Log Analyst, Vol.4 No.1.
- 7) 小鯛桂一 (1974) : 地下水調査のための密度検層 (測定上の問題点と機器の試作について) 地質調査所月報 Vol.25, No.4

地学と切手



スミソニ
アン協会
100年
記念切手

P. Q.

1946年8月10日100年記念切手を発行されたスミソニアン協会はワシントンの4番街から12番街にわたるビルディングの一群であり図書館自然科学博物館天文台飛行機博物館動物園美術館に至るまでの知識の宝庫である。ここには約2,000人が仕事に従事している。それはイギリスの化学者で鉱物学者であったスミスソン (James SMITHSON, 1765~1829) の遺贈によって創立されたものである。しかし彼は1度もアメリカの土は踏まなかった。だが彼の遺骨はゼノアから1904年に改葬されて協会内のチャペルに葬られている。

彼はイギリスでノーザンバーランド公爵の庶子として生まれた。その母の血筋をたどるとサマーセット公爵を通じてヘンリー7世に至るといわれている。はじめ母の性を名乗っていたが後に認知されてスミスソンとなりオックスフォードを卒業して化学者・鉱物学者となった。菱亜鉛鉱 (Smithsonite) は1802年に分析した彼の業績にちなんで命名された名前である。

1度もアメリカに行ったことのない彼が何故遺産をアメリカに寄贈したかは憶測しか出来ないが彼の出生の環境と無関係ではないと一般に考えられている。1826年に全財産を甥に子供のなかった時の条件付だったが

“アメリカ合衆国ワシントンにおいてスミソニアン協会の名のもとに人類の間の知識の増大と普及のための国立施設を作る” ために遺贈することとした。1838年にアメリカに到着した遺産額は588,318ドル46セントであり8年の審議の後に1846年8月10日に法律がサインされた。協会はその後の100年間に遂次充実されて来た。スミソニアン協会の理事会は大統領・最高裁判事・閣僚からなり長官をえらぶ。4代目のWALCOTT

(1907~1927)は連邦地質調査所の所長だった。

協会には前述の多くの施設と機能があるが地学と関係あるのは出版図書館博物館である。

出版物は考古学から始めて哲学に至る科学の各分野を覆う17種の出版物 (途中廃刊も含む) があり地質学古生物学鉱物学が含まれている。これらの出版物は世界中のおもな研究機関に送られ見返りとして世界中から文献が集ってくる。図書館は世界で最大なそしてもっとも重要なもののひとつである。それは協会内にある50万冊以上のものと国会図書館にある100万冊のとありいずれも有効に各界に利用されている。それらに密接に関するものとして国際交換サービスがある。それはアメリカ国内の図書館・学会・研究所・個人で自身の出版物を国外の機関へ交換または寄贈しようとする場合に出版物を協会へ送れば協会では一括して船便で国外の機関へ無料で送ってくれる。国外からの交換出版物が協会へ一括して到着するとアメリカ内のあて先へは無料で送られる仕組である。

国立博物館は歴史技術博物館と自然史博物館からなる。自然史博物館には全世界から現在も集められている動物・植物・鉱物・考古品の標本総数は5,500万点にのぼり展示されているのはそのうち1%にみえない。100人以上の科学者が研究に従事して報告を出版している。その収蔵品は19世紀のアメリカ西部への探険隊の収集品にさかのぼりこれらは現在環境汚染以前のサンプルとして研究の対象となっている。

連邦地質調査所 (U. S. G. S.) は独自の標本館は有していなく研究のすんだ標準的標本はこの博物館に収めることになっている。たとえば1867~73にC. KINGの指揮の下に行なわれたU. S. G. S北緯40度沿いの調査では岩石の記載はZIRKELによって行なわれた。それらの薄片は国立博物館に保管されているがSMITHらによる再検討の結果総数800枚中200枚が熔結凝灰岩だった等は標準標本収納の必要のよい例である。

切手にはスミスソンの遺言の1部 Increase and diffusion of Knowledge among men が Smithsonian Institution Buildingの正面図の上に記されている。